

第10回 東日本大震災アーカイブワークショップ議事要旨

日時：平成30年12月14日（金）13：30～15：30

場所：東北大学附属図書館 1号館 2階大会議室

出席館：岩手県立図書館、宮城県図書館、福島県立図書館、仙台市民図書館、岩手大学図書館、東北大学附属図書館、福島大学附属図書館、国立国会図書館、防災科学技術研究所自然災害情報室、防災専門図書館

配付資料：

資料1．各機関の活動報告書 ―震災記録の収集を中心に―

資料2．東日本大震災アーカイブワークショップ開催記録の公開について

参考資料1．第9回 東日本大震災アーカイブワークショップ議事メモ

参考資料2．第8回 被災地図書館との震災資料の収集・公開に係る情報交換会 ご案内

参考資料3．環太平洋研究図書館連合（PRRLA）2018年総会 <報告>

参考資料4．平成30年度東日本大震災アーカイブシンポジウム

参考資料5．防災科学技術研究所自然災害情報室 図書館災害対応研究会配付資料

机上配付資料1．防災専門図書館「震度7の連鎖」チラシ

机上配付資料2．国立国会図書館「ひなぎく」パンフレット

1. 開会

議事に先立ち、東北大学附属図書館総務課長からの挨拶及び出席者の自己紹介を行った。

2. 各機関からの活動報告

各機関より資料1に基づき報告を行い、次のような話題が出た。

- ・収集資料は年々減少傾向にある。
- ・アーカイブ間の連携や、自治体内・大学内の他部署との連携が引き続き課題となっている。
- ・震災関連アーカイブが閉鎖され、他の機関がコンテンツを引き継ぐという事例が出始めている。
- ・新学習指導要領に防災教育の充実について盛り込まれたことから、小中学校での震災資料の利活用が想定される。

3. 各機関からの提案事項

(1) 東日本大震災アーカイブワークショップの開催記録の公開について

東北大学より資料 2 に基づき、本ワークショップの開催記録の公開について提案を行った。協議の結果、次のように対応することとした。

- ・本ワークショップのウェブサイトを作成し、公開する。(テスト版を作成し、事前に各館の確認を得る。)
- ・ウェブサイトに、ワークショップ第 1 回以降の開催概要を掲載する。
- ・ウェブサイトに、第 10 回 (今回) 以降の配付資料及び議事要旨を掲載する。(議事要旨は、事前に各館の確認を得る。)
- ・第 9 回までの活動報告書の公開可否については、各館で持ち帰り確認する。

(2) その他

①2020 年図書館総合展に向けて

防災科学技術研究所より資料 1 (p.26) に基づき、2020 年の図書館総合展への出展等の企画に向けた準備について提案を行った。協議の結果、次のように対応することとした。

- ・2020 年秋の図書館総合展については、今後情報交換しつつ進めていく。
- ・2019 年 5 月の図書館総合展フォーラム in 須賀川については、可能な範囲で協力する。

②「災害記録を図書館に」の名称使用について

防災科学技術研究所より資料 1 (p.26) に基づき、地震以外の自然災害を含むアーカイブに関する活動に、「災害記録を図書館に」をスローガンとして使用したい旨提案を行った。

「震災記録を図書館に」キャンペーン呼びかけ元の東北大学としては差し支えないことを確認した。

4. その他

- ・防災科学技術研究所より、参考資料 5 の作成意図について説明があった。
- ・次回は、2019 年の 11 月後半もしくは 12 月に開催することを確認した。